

学生便覧

山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部

2026 年度

目次

I. 大学概要	1
1. 山梨学院大学.....	1
2. 国際リベラルアーツ学部.....	1
3. 山梨学院大学の理念.....	2
4. 山梨学院大学 3つのポリシー.....	3
5. 国際リベラルアーツ学部 3つのポリシー.....	4
6. 大学からの通知・連絡.....	6
II. 学修	7
1. 学籍.....	7
2. カリキュラム.....	10
3. 履修.....	25
4. 授業.....	28
5. 試験.....	31
6. 成績.....	33
7. 学事暦.....	35
III. 進路・就職	38
1. 支援概要.....	38
IV. 学生生活	39
1. 情報サービス・学習リソース.....	39
2. 施設.....	41
3. 学生生活支援.....	42
4. 保険.....	43
5. 学費.....	44
6. 奨学金・教育ローン.....	45
7. 在留資格.....	47
V. 窓口・連絡先	50
1. 窓口.....	50
2. 連絡先.....	51

I. 大学概要

1. 山梨学院大学

(1) 学部・学科

- ・ 法学部法学科
- ・ 経営学部経営学科
- ・ 健康栄養学部管理栄養学科
- ・ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科
- ・ スポーツ科学部スポーツ科学科

2. 国際リベラルアーツ学部

(2) 名称

- ・ 学部（日本語）：国際リベラルアーツ学部
- ・ 学部（英語）：Faculty of International College of Liberal Arts
- ・ 学科（日本語）：国際リベラルアーツ学科
- ・ 学科（英語）：Department of International Liberal Arts
- ・ 学位（日本語）：学士（国際リベラルアーツ）
- ・ 学位（英語）：Bachelor of International Liberal Arts

3. 山梨学院大学の理念

(1) 教育理念

山梨学院大学は広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成する。

(2) 教育目標

「たくましく生きる力」を育成すること。

(3) 学則における目的及び教育

第一条 本大学は、法令の定めるところに従い、法学、経営学、栄養学、国際リベラルアーツ及びスポーツ科学の分野の教育研究を通じて、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。この目的のため、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

4. 山梨学院大学 3 つのポリシー

(1) ディプロマ・ポリシー(DP)

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする。

- 1 「実践的な知識と技能」を備え「創造力と行動力」を発揮して社会に貢献する基盤が身についている。
- 2 多様な背景を持つ人々と、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。
- 3 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。
- 4 自己を理解し、他者との良好な関係を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。

(2) カリキュラム・ポリシー(CP)

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

教育内容

- 1 学部専攻科目においては、DP1 に掲げられた「実践的な知識と技能」および「創造力と行動力」を身につける。
- 2 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学 DP に掲げられた能力を身につける。

教育方法

- 1 講義系の科目においては、知識と技能を伝授するだけでなく、知識と技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。
- 2 演習系科目においては、創造力と行動力を育成するために、プロジェクト型学習等を実施する。

評価方法

- 1 講義系の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。
- 2 演習系科目では、プロジェクトの実行課程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。
- 3 各授業の評価基準は、シラバスと授業ルーブリックによって定める。
- 4 卒業判定は、各学部の履修規程に定められた基準によって行う。

(3) アドミッション・ポリシー(AP)

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

- 1 知識・技能
各学科での学びにつながる基礎学力を備えている人
- 2 思考力・判断力・表現力等の能力
問題を多角的にとらえて、適切に判断し表現することができる人
- 3 主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ態度
目標・目的を定めて向上心を持って成長しようとする人

5. 国際リベラルアーツ学部 3 つのポリシー

(1) ディプロマ・ポリシー (DP)

- 1 口頭及び文書による高いコミュニケーション能力を修得し、有益な知識を効果的に伝達することができる。(全学 DP 2 に相当)
- 2 批判的思考力・創造力・問題解決能力・グローバルな意識を身につけ、多様に変化する社会に適応し、貢献する意欲をもっている。(全学 DP 1 に相当)
- 3 グループ活動において、効果的に協働・連携することができる。(全学 DP 4 に相当)
- 4 個人的及び社会的な責任感を持ち、倫理的・道徳的な価値判断に基づいた社会貢献ができる。(全学 DP 3 に相当)

(2) カリキュラム・ポリシー (CP)

教育内容

- 1 語学科目(アカデミック英語科目・日本語研究科目)、基幹教育科目、及び各科目区分 から一定の科目を履修することにより、全学 DP 及び学部 DP に掲げられた能力を身につける基盤を形成する。
- 2 グローバルビジネス・経済学、政治学、心理学、データ・サイエンス、人文教養、日本研究の分野を横断的かつ縦断的な学びから、批判的、創造的さらにグローバルな視点から思考し、協働して問題解決にあたる能力を身につける。

教育方法

- 1 各科目区分を通じ、講義及び演習双方の授業形態において、知識・技能を伝授すると同時にそれらの活用力を育成するため、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート等のアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。
- 2 実習科目においては、各分野において、企画・立案、実演、作品創作・制作を通じて、創造力・行動力・表現力を育成するために、実践型学習を実施する。

評価方法

- 1 各科目区分の講義・演習科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力を口頭発表または論述(または双方)により評価する。
- 2 実習科目では、実行過程における行動評価と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。
- 3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。
- 4 卒業判定は、国際リベラルアーツ部履修規程に定められた基準によって行う。

(3) アドミッション・ポリシー (AP)

国際リベラルアーツ学部では、

- 1 意欲が高く熱心であり
- 2 学問的な潜在能力と一定の学業成果を有し
- 3 寛容な精神とともに、好奇心があり、批判的で柔軟な思考ができる
- 4 本学部での学修に必要な基礎的な英語力と、英語の学習能力が備わっている人物を求める。

1 基礎的な知識技能

ほぼ全ての授業科目を英語で学ぶために、入学時に高等学校課程修了程度の英語力を身につけていることを求める。また、幅広い教養科目を履修するため国語、数学、理科、公民、地理歴史の基礎的な事項について学んでおくことを求める。

2 思考力・判断力・表現力等の能力

批判的、創造的、自立的、グローバルな思考力を身につけ、自己の考えを英語及び日本語を用いて適切に表現ができる人

3 主体性・多様性・協働性

国際社会で活躍するため、異文化に対し好奇心を持ち、多様な文化的背景を持つ人々と協働して共通の問題を解決する意欲の高い人

6. 大学からの通知・連絡

(1) 大学から学生への連絡方法

大学は、主に電子メールやポータルサイトを通じて、学生に通知や連絡を行う。最新情報をこまめに確認する習慣を身につけ、必要な手続きは期日内に行うこと。

① 統合認証 ID

統合認証 ID とは、学生ポータルやキャンパス Wi-Fi などの大学のサービスを利用するためのユーザー名とパスワードで、入学時に学生に通知する。

② 学習管理システム「UNIPA」

学習管理システムとは、学修に必要な情報を確認したり手続きを行ったりできるウェブ上のシステムのことである。本学は、「ユニバーサル・パスポート／Universal Passport」（略称 UNIPA）という学習管理システムを活用している。UNIPA には、履修登録、時間割照会、出欠管理、シラバス検索、成績照会、掲示等様々な機能がある (<https://unipa.ygu.ac.jp/uprx/>)。

③ iCLA Navi

iCLA Navi は、学生が円滑に学生生活を送るために必要な、学業、学費、寮、在留資格、キャリア支援、よくある質問等の情報を簡単に得られるポータルサイトである

(<https://ygustudents.sharepoint.com/sites/iCLANavi>)。

④ 大学電子メール

大学は入学時に学生に大学メールアドレスを通知する。電子メールによる連絡は、当該メールアドレス宛てに送信する。大学へ電子メールにて連絡する際は、件名・宛名・学籍番号・名前を記載の上、本アドレスから送信すること。

⑤ 公式ウェブサイト

- ・ 山梨学院大学（日本語）：<https://www.ygu.ac.jp/>
- ・ 山梨学院大学（英語）：<https://www.ygu.ac.jp/en/>
- ・ 国際リベラルアーツ学部（日本語）：<https://www.icla.ygu.ac.jp/jp/>
- ・ 国際リベラルアーツ学部（英語）：<https://www.icla.ygu.ac.jp/en/>

II. 学修

1. 学籍

(1) 在学期間

在学とは、本学に籍を置くことをいう。学生の在学期間は、16学期を超えることはできない。

(2) 修学期間

修学期間とは、卒業するために必要な学修の期間のことをいい、本学はこれを8学期とする。

(3) 学年

前期入学生：1学年は4月1日から3月31日まで

後期入学生：1学年は9月1日から8月31日まで

(4) 入学日

4月3日または9月1日

(5) 学位取得日

3月15日または8月31日

(6) 学籍番号

学籍番号とは、学生証に記載されている7桁の番号である。入学時に各学生に付与し、在学中の様々な情報を管理するために使用する。

26 08 999

入学年度 学部・学科 個人番号

(7) 電子学生証

電子学生証は本学の学生であることを証明する身分証明書で、スマートフォンに表示する形式となっており、常に携帯しなければならない。不正使用や他人への貸与は禁止されている。スマートフォンの端末を変更した場合は、iCLA Naviで再認証の手続きを行うこと。卒業、退学、または除籍により学籍がなくなるときは、学生証は無効になる。

(8) 証明書

大学は以下の証明書を発行できる。

	証明書	対象者	申請先	手数料
1	在学証明書	正規生	自動発行機	¥300
2	成績証明書	少なくとも1学期間を修了した学生	自動発行機	¥300
		卒業生	大学総合窓口/iCLA 事務室	¥500
3	卒業見込証明書	4年次の正規生で1年以内に卒業できる見込みのある学生	自動発行機	¥300
4	卒業証明書	卒業生	大学総合窓口/iCLA 事務室	¥500
5	健康診断証明書	正規生	自動発行機	¥300
6	学生旅客運賃割引証	正規生	自動発行機	なし
7	証明書 (JR 東日本対応)	全学生	自動発行機	なし
8	通学証明書	全学生	UNIPA	なし

※1-4は日本語及び英語で、5-8は日本語で発行する

(9) 学籍異動

学生の在籍状態を変更することを学籍異動といい、以下の種類がある。

① 休学

3ヶ月以上修学できない場合に、学長の許可により大学を休むこと。休学期間は1学期間または2学期間で、特別な理由がある場合はさらに2学期間まで延長することができる。通算して8学期を超えて休学することは認められない。休学期間は修業期間に含まれず、休学する分卒業時期が延びる。在籍学年・学期は留め置きとなる。休学期間は在学期間に含まれる。

② 復学

学長の許可により休学後に大学に復帰すること。復学した年度のカリキュラム及び制度に基づき科目を履修する。

③ 退学

学長の許可により大学を辞めること。成績不良等の理由により、大学が学生に対して退学勧告を出す場合もある。

④ 除籍

大学が学生を在籍者名簿から外すこと。以下は除籍の対象となる。

- ・ 学費等納入金やその他義務金の納付を怠り督促を受けても納入しない者
- ・ 在学期間を超えた者
- ・ 休学期間を終えても休学の理由が消滅しない者
- ・ 督促を受けても当該年度の履修登録を行わない者
- ・ 長期間にわたって行方不明の（本学からの連絡に1年以上返答がない）者、または死亡した者
- ・ 日本に在留するために必要な在留資格が失効した者、または在留資格により認められている活動の実態の確認ができない者
- ・ 正当な理由がないにもかかわらず、退学勧告を受けても退学手続きを行わない者
- ・ 大学の規則または学生としての本分に反する行為をして、除籍の懲戒処分を受けた者

⑤ 再入学

本学を退学した者、もしくは学費等納入金やその他の義務金の未納により除籍された者が、学長の許可により再度入学すること。再入学日は原則退学日または除籍日より起算して5年以内でなければならない。なお、再入学は、試験に合格し、定員に余裕がある場合に限り許可する。

⑥ 卒業延期

卒業要件を満たした者が、学長の許可により引き続き在学すること。期間は原則半期ごと2学期間までとするが、最長通算4学期間まで延長できる。以下の要件を全て満たす者のみが申請できる。

- ・ 卒業の要件を満たすまたは満たす見込みがある
- ・ 卒業を延期しても、在学期間が16学期を超えない
- ・ 学費等納入金を完納している
- ・ 在留資格「留学」を持たない

2. カリキュラム

(1) カリキュラム概要

本学部のカリキュラムは、学生が科目を多角的に学び、幅広い領域の知識を結びつける分野横断型である。1年次はアカデミック英語、基礎教育科目、パスウェイコースを中心に履修し、2年次は多岐にわたる講義科目や実習科目を履修する。3年次はiCLAまたは交換留学先で、選択したメジャー分野をより掘り下げて学修し、4年次にはこれまでの学修の集大成となる演習と卒業研究に取り組むことができる。

学年	1		2		3		4	
学期	1	2	3	4	5	6	7	8
EAE	EAE							
リベラルアーツ	基幹教育							
	日本語教育科目							
	グローバルビジネス・経済学／政治学／心理学／ データ・サイエンス／人文教養／日本研究／ 数的推理・自然科学／保健体育／社会学							
	メジャー							
					交換留学	演習	卒業研究	

(2) 科目の分類及び区分

- ① アカデミック英語プログラム／English for Academic Excellence Program (EAE)
- ② リベラルアーツプログラム／Liberal Arts Program (LA)
 - (A) 基幹教育／Foundation Courses
 - (B) メジャー／Major Areas
 - (a) グローバルビジネス・経済学／Global Business & Economics
 - (b) 政治学／Political Science
 - (c) 心理学／Psychology
 - (d) データ・サイエンス／Data Science
 - (e) 人文教養／Interdisciplinary Arts
 - ・ 文学・言語学／Language Arts
 - ・ 芸術／Arts
 - ・ 芸能／Performing Arts
 - ・ 音楽／Music
 - (f) 日本研究／Japan Studies
 - ・ 歴史学／History
 - ・ 日本語研究／Japanese Language
 - ・ その他日本研究科目（コースナンバーにJPNAがついている科目）
 - (C) 数的推理・自然科学／Quantitative Reasoning & Natural Sciences
 - (D) 保健体育／Health & Physical Education
 - (E) 社会学／Sociology

(3) 開講科目一覧

科目区分 Cluster/Discipline	コースナンバー Course Number	授業科目の名称 Course Title	履修の前設条件 Prerequisites コースナンバー-11は 区分単位数の要件 Course Number or Credits	出向 有次 Grade Level	開講年度 Year	開講学期 Semester	単位数 # Credits	授業形態 Class Style										
								必 修 Req	選 択 Elec	自 由 Free	講 義 Lec	演 習 Sem	実 習 WS					
アカデミック英語 English for Academic Excellence	EFAE010	English for Academic Excellence (EFAE) : A アカデミック英語 A	none	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	EFAE020	English for Academic Excellence (EFAE) : B アカデミック英語 B	EFAE010 or equivalent	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	15	○	○									
基礎教養 Foundation Courses	— 春 (12科目) Subtotal 2																	
	FNDN060	Reading for Academic Dialogue アカデミック対話のための読解	EFAE030 or equivalent, OR placement test	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN070	Introduction to Academic Writing アカデミックライティングの基礎	EFAE030 or equivalent, OR placement test	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN080	English for Liberal Arts リベラルアーツのための英語	EFAE030 or equivalent, OR placement test	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN090	Academic Reading Across Disciplines 分野横断的アカデミックリーディング	Placement test	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN101	英語作文 1	Placement test	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN102	Composition 2 英語作文 2	FNDN101	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN103	Expository Research Writing リサーチライティング	Placement test	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	FNDN116	Foundation for College Success カレッジ成功の基礎	none	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	1											
	FNDN145	Modern World History 現代世界史	none	1	毎年 Every Year	前期 Fall	3	○										
	FNDN285	Internship インターンシップ	none	2	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	1											
	FNDN499	Graduation Research Project 卒業研究	(see page 25)	4	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	2											
	— 春 (11科目) Subtotal 11																	
	ECON101	Microeconomics 微观経済学	none	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	ECON102	Macroeconomics マクロ経済学	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○									
	BUSN/PSYC1105	Introduction to Global Business Management 国際化の経営管理 (グローバル・ビジネス・マネジメント)	none	1	毎年 Every Year	前-後期 Spring & Fall	3	○	○									
	ECON120	Accounting 会計学	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○									
	ECON201	Intermediate Microeconomics 中級微观経済学	ECON101	1	毎年 Every Year	前期 Fall	3	○	○									
	ECON202	Intermediate Macroeconomics 中級マクロ経済学	ECON102	2	毎年 Every Year	前期 Fall	3	○	○									
	ECON265	Financial Management ファイナンシャル	ECON101 AND ECON120	2	毎年 Every Year	前期 Fall	3	○	○									
BUSN/SOC1211	Game Theory ゲーム理論	none	2	毎年 Every Year	前期 Fall	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	Game Theory ゲーム理論	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3	○	○										
ECON/PSYC/QREA225	International Management 異文化マネジメント	ECON101	2	毎年 Every Year	前期 Spring	3</												

(4) メジャー

メジャーとは、学部生が主に修める学問分野である。本学部では以下6分野から1つ選択できる。

- ・ グローバルビジネス・経済学 ・ 政治学 ・ 心理学
- ・ データ・サイエンス ・ 人文教養 ・ 日本研究

メジャーは、パスウェイコースを履修した科目区分から選択する。心理学またはデータ・サイエンスを選択する場合は、その科目区分のパスウェイコースでB以上の成績を修めなければならない。申告後はアドバイザーによる一貫した指導のもと、継続的にメジャーエリアの講義科目を履修しその分野の専門性を高める。メジャー申告・変更の手続きについては、iCLA Naviを参照すること。

(5) マイナー

マイナーとは、学部生がメジャーに加えて任意で修める二次的な学問分野である。本学部では以下3分野から1つ選択できる。ただし、メジャーと同一の分野は選択できない。

- ・ 政治学 ・ 心理学 ・ 日本研究

マイナーの要件を満たすには、所定の科目から18単位を修得し、そのうちパスウェイコース1科目及びパスウェイコース以外の3科目において、B以上の成績を修めなければならない。マイナー申告・変更の手続きについては、iCLA Naviを参照すること。

(6) 卒業要件

本学部を卒業するためには、以下の①～③の要件を満たす必要がある。

① 修業期間

原則8学期以上修了すること。

② 修得単位数

本学部が認定する科目を124単位以上修得すること。ただし、卒業要件単位に算入できる日本語教育科目は、「アカデミック英語 A」と「アカデミック英語 B」の両科目を修得した場合6単位まで、「アカデミック英語 B」のみ修得した場合または「アカデミック英語」を免除された場合24単位までとする。

③ 必修・選択必修科目

2024年度までに入学した学生は、以下の科目の単位を修得すること。

区分	必修・選択必修科目
英語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アカデミック英語：B」(15単位) 入学時に留学生として入学を認められる学生、またその学生と同等の英語運用能力を有すると認められる学生は免除とする
日本語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会人のための日本語作文」(3単位) 日本語を母語とする学生、またその学生と同等の日本語運用能力を有すると認められる学生
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「日本語2」(3単位)

2024年度までに入学した学生		日本語を母語としない留学生等 ただし、入学後に実施する日本語運用能力に関する試験の結果により当該科目を履修する必要がないと認められる学生は免除とする
	基幹教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の初年次基幹教育科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「カレッジ・サクセスの基礎」(1単位) または「リベラルアーツ・オムニパス」^{*1}(3単位) ・ 以下のアカデミック・ライティング・リーディング科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「英作文1」及び「英作文2」及び「分野横断型アカデミック・リーディング」(計9単位) または ・ 「リサーチ・ライティング」(3単位) <small>^{*1}2023年度まで開講</small>
	パスウェイ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のパスウェイコースを異なる3つの科目区分より少なくとも1科目ずつ(計9単位) <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルビジネス・経済学： <ul style="list-style-type: none"> 「マイクロ経済学」 「グローバル・ビジネス・マネジメント入門」 ・ 政治学： <ul style="list-style-type: none"> 「政治学入門」 ・ 心理学： <ul style="list-style-type: none"> 「心理学入門」 「心理生物学入門」 ・ データ・サイエンス： <ul style="list-style-type: none"> 「パイソン・プログラミング入門」 ・ 人文教養： <ul style="list-style-type: none"> 「言語概念入門」 「文学鑑賞」 「美術鑑賞」 「映画製作入門」 「音と音楽概論」 「インターディシプリナリー・アート」^{*2} ・ 日本研究： <ul style="list-style-type: none"> 「日本史入門」 「日本の人類学」 「19世紀以降の日本史」^{*3} <small>^{*2}2025年度まで開講、^{*3}2022年度まで開講</small>

メジャー	メジャーごとの要件は以下の通り メジャー選択の詳細については、II-2-(4)「メジャー」を参照すること	
	グローバルビジネス・経済学	
オプション1	オプション2	
<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) 	
	政治学	
オプション1	オプション2	
<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) 	
	人文教養	
オプション1	オプション2	
<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) 	
	日本研究	
オプション1	オプション2	
<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) 	
	心理学	
オプション1	オプション2	
<ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の7科目(21単位) 「心理学入門」 「心理生物学入門」 「研究デザイン」 「社会心理学」 「認知心理学」 「発達心理学」 「差異心理学」 その他の科目(9単位) (「統計学」も算入可) 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の7科目(21単位) 「心理学入門」 「心理生物学入門」 「研究デザイン」 「社会心理学」 「認知心理学」 「発達心理学」 「差異心理学」 その他の科目(12単位) (「統計学」も算入可) 	

データ・サイエンス	
データ・サイエンス (政治経済学コース)	
オプション1	オプション2
<ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の9科目(27単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「政治学入門」 「ミクロ経済学」 「研究デザイン」 「統計学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 「計量経済学」 以下より1科目(3単位) 「開発の政治経済学」 「国際貿易:理論と政策」 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の9科目(27単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「政治学入門」 「ミクロ経済学」 「研究デザイン」 「統計学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 「計量経済学」 以下2科目より1科目以上を含むその他の科目(6単位) 「開発の政治経済学」 「国際貿易:理論と政策」
データ・サイエンス (心理学コース)	
オプション1	オプション1
<ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (30単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の8科目(24単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「心理学入門」 「研究デザイン」 「統計学」 「社会心理学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのため 	<ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 <ul style="list-style-type: none"> 『講義科目』*4 (33単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の8科目(24単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「心理学入門」 「研究デザイン」 「統計学」 「社会心理学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」

2024年度までに入学した学生	<p>の数学」</p> <p>「機械学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下3科目より2科目(6単位) 「サイバー心理学」 「消費者心理学」 「経済心理学」 「差異心理学」 「演習」(1単位) 「卒業研究」(2単位) 	<p>「データ・サイエンスのための数学」</p> <p>「機械学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下3科目より2科目以上を含むその他の科目(9単位) 「サイバー心理学」 「消費者心理学」 「経済心理学」 「差異心理学」
	データ・サイエンス (ファイナンスコース)	
	<p>オプション1</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 『講義科目』*4 (30単位) 指定の9科目(27単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「アカウンティング」 「ファイナンス論」 「研究デザイン」 「統計学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 「計量経済学」 以下3科目より1科目(3単位) 「証券投資論」 「リスクマネジメント概論」 「ポートフォリオ理論」 「演習」(1単位) 「卒業研究」 <p><small>*4メジャーエリアのバスウェイコース3単位を含む</small></p>	<p>オプション2</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のメジャーエリア科目 『講義科目』*4 (33単位) 指定の9科目(27単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「アカウンティング」 「ファイナンス論」 「研究デザイン」 「統計学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 「計量経済学」 以下3科目より1科目以上を含むその他の科目(6単位) 「証券投資論」 「リスクマネジメント概論」 「ポートフォリオ理論」 <p><small>*4メジャーエリアのバスウェイコース3単位を含む</small></p>

<p>数的推理</p> <p>自然科学</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以下4科目より1科目(3単位) 「リベラルアーツのための数学」 「大学代数学」 「地球科学」 「統計学」
-------------------------	--

2025年度以降に入学した学生は、以下の科目の単位を修得すること。

	<p>区分</p> <p>必修・選択必修科目</p>
2025年度以降に入学した学生	<p>英語教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アカデミック英語：B」(15単位) <p>入学時に留学生として入学を認められる学生、またその学生と同等の英語運用能力を有すると認められる学生は免除とする</p>
	<p>日本語教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人のための日本語作文」(3単位) <p>日本語を母語とする学生、またその学生と同等の日本語運用能力を有すると認められる学生</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日本語2」(3単位) <p>日本語を母語としない留学生等</p> <p>ただし、入学後に実施する日本語運用能力に関する試験の結果により当該科目を履修する必要がないと認められる学生は免除とする</p>
	<p>基幹教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の初年次基幹教育科目 「カレッジ・サクセスの基礎」(1単位) 以下のアカデミック・ライティング・リーディング科目 「英作文1」及び「英作文2」及び「分野横断型アカデミック・リーディング」(計9単位) または 「リサーチ・ライティング」(3単位)
	<p>バスウェイ</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のバスウェイコースを異なる3つの科目区分より少なくとも1科目ずつ(計9単位) グローバルビジネス・経済学： <ul style="list-style-type: none"> 「マイクロ経済学」 「グローバル・ビジネス・マネジメント入門」 政治学： <ul style="list-style-type: none"> 「政治学入門」 心理学： <ul style="list-style-type: none"> 「心理学入門」 「心理生物学入門」 データ・サイエンス： <ul style="list-style-type: none"> 「パイソン・プログラミング入門」 人文教養：

	「言語概念入門」 「文学鑑賞」 「美術鑑賞」 「映画製作入門」 「音と音楽概論」 「インターディシプリナリー・アート」*1 <ul style="list-style-type: none"> 日本研究： 「日本史入門」 「日本の人類学」 <small>*12025年度まで開講</small>
メジャー	メジャーごとの要件は以下の通り メジャー選択の詳細については、II-2-(4)「メジャー」を参照すること グローバルビジネス・経済学 <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) 政治学 <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) 人文教養 <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) 日本研究 <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) 心理学 <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の7科目 (21単位) 「心理学入門」 「心理生物学入門」 「研究デザイン」 「社会心理学」 「認知心理学」 「発達心理学」 「差異心理学」 その他の科目 (15単位) (「統計学」も算入可)

	データ・サイエンス データ・サイエンス (政治経済学コース) <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の9科目 (27単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「政治学入門」 「マイクロ経済学」 「研究デザイン」 「統計学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 「計量経済学」 以下2科目より1科目以上を含むその他の科目 (9単位) 「開発の政治経済学」 「国際貿易: 理論と政策」 データ・サイエンス (心理学コース) <ul style="list-style-type: none"> メジャーエリアより以下36単位 『講義科目』*1 (36単位) <ul style="list-style-type: none"> 指定の8科目 (24単位) 「パイソン・プログラミング入門」 「心理学入門」 「研究デザイン」 「統計学」 「社会心理学」 「パイソン・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 以下3科目より2科目以上を含むその他の科目 (12単位) 「サイバー心理学」 「消費者心理学」 「経済心理学」 「差異心理学」
--	---

2025年度以降に入学した学生	データ・サイエンス（ファイナンスコース）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ メジャーエリアより以下 36 単位 ・ 『講義科目』*1 (36 単位) <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定の 9 科目 (27 単位) <ul style="list-style-type: none"> 「Python・プログラミング入門」 「アカウントティング」 「ファイナンス論」 「研究デザイン」 「統計学」 「Python・データビジュアライゼーション技術」 「データ・サイエンスのための数学」 「機械学習」 「計量経済学」 ・ 以下 3 科目より 1 科目以上を含むその他の科目 (9 単位) <ul style="list-style-type: none"> 「証券投資論」 「リスクマネジメント概論」 「ポートフォリオ理論」 <p><small>*1メジャーエリアのパスウェイコース 3 単位を含む</small></p>
数的推理 自然科学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下 4 科目より 1 科目 (3 単位) <ul style="list-style-type: none"> 「リベラルアーツのための数学」 「大学代数学」 「地球科学」 「統計学」

その他の詳細は、Study Abroad Guide を参照すること。

(7) 演習・卒業研究

① 演習

「演習」は、アドバイザーの指導のもと、様々な科目で学修した多様な学問的知識やスキルを結合し、「卒業研究」の案を作成する科目である。履修を希望する学生は以下の要件を満たし、「演習」を担当する教員の許可を得た上で履修する。

- ・ 必修基幹教育科目の単位を全て修得している
- ・ 少なくとも 6 学期を修了し、合計で 82 単位以上修得している
- ・ グローバルビジネス・経済学、政治学、人文教養、日本研究メジャーの学生は、メジャーの卒業要件として定められた講義科目を 7 科目 (21 単位) 以上修得している
- ・ 心理学メジャーの学生は、メジャーの卒業要件として定められた指定科目 4 科目 (12 単位) を含む講義科目を 7 科目 (21 単位) 以上修得している
- ・ データ・サイエンスメジャーの学生は、メジャーの卒業要件として定められた指定科目 6 科目 (18 単位) を含む講義科目を 7 科目 (21 単位) 以上修得している
- ・ 「演習」履修時の累積 GPA が 2.5 以上である*
- ・ アドバイザーから「演習」の履修について承認を得ている

*2024 年度以前に入学した学生には GPA の要件は適用されない

② 卒業研究

「卒業研究」は、学生が「演習」の指導教員のもとで学修の集大成となる研究を行い、その成果を発表する科目である。成績評価は 3 名の教員が審査の上行う。「卒業研究」は、原則、「演習」を履修した翌学期かつ卒業直前の最終学期に履修する。交換留学中に「演習」や「卒業研究」を履修することはできない。

(6) 交換留学

交換留学とは、単位互換を目的として、所属大学に在籍したまま所属大学と交換留学協定を締結した海外の大学で学ぶことである。留学先で修得した単位は、学生が所定の要件を満たした上で単位互換手続きを行うと、本学の単位として認定される。留学期間は本学の 1 学期間または 2 学期間に相当する期間とする。交換留学中は、本学学費に加え、留学先での宿泊費、食費、生活費、教材費、ビザ取得費、渡航費用、海外旅行保険費、交通費、その他雑費等を負担する必要がある。学内申請資格は以下の通りである。

メジャー	申告していること。
履修科目	以下の科目の単位を修得済または履修中であること。後者の場合、単位を修得できなければ、申請は不通過となる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹教育の必修科目 ・ 申告したメジャーエリアのパスウェイコース 1 科目
成績・語学	以下の基準を満たし、かつ、留学先が定める成績及び語学の要件を満たしていること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語運用能力：IELTS6.0(各サブセクション 6.0)以上 ・ 出願時の累積：GPA3.0 以上

3. 履修

(1) 概要

① 学期制

本学では、学年を前期（4月1日から8月31日まで）と後期（9月1日から3月31日）の2学期に区分する。各学期は、授業期間15週間、定期試験2日間、及び授業が実施されない期間で編成される。また、後期には冬季特別授業を5週間実施する。

② 冬季特別授業

2月から3月にかけて、以下の学生を対象に特別授業を実施する。

- ・ 「アカデミック英語」で12月末に評価保留となったEAE学生
- ・ 日本での就職に向けて、日本語能力試験の受験を考えている学生

③ 授業時間

1限	2限	昼休み	3限	4限	5限	6限
9:00-10:15	10:25-11:40	11:40-12:40	12:40-13:55	14:05-15:20	15:30-16:45	16:55-18:10

④ 単位制

大学では単位制のもと、学修を進める。単位制とは、授業科目を履修し所定の試験に合格することでその授業科目に割り当てられている単位を修得し、修得単位数が所定の数に達すると学位が与えられる制度のことである。単位とは、授業科目の内容をどのくらい時間をかければ修得できるかを示す指標である。1単位は45時間の学修を必要とすることが標準とされており、この45時間には授業時間だけでなく、授業外学修（予習・復習等）の時間も含まれる。各科目の単位や交換留学先より互換する単位は、授業形態、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し計算する。

(2) 履修計画の作成

① 履修計画

大学では、学生が自律的に計画を立て科目を選択する。以下の資料をよく読み、アドバイザーに相談した上で、履修計画を立てること。

- ・ 卒業要件：II-2-(6)「卒業要件」
- ・ 開講科目一覧：II-2-(3)「開講科目一覧」
- ・ シラバス：各科目の到達目標や、授業計画、事前・事後学修の内容、評価方法等が記載されており、UNIPAで確認できる
- ・ 時間割表：授業を開講する曜日・時限・教室が記載されており、iCLA Naviより入手できる
- ・ 学修計画シート：卒業に必要な履修科目を確認できるチェックシートで、iCLA Naviより入手できる。

② アドバイジング制度

アドバイジングとは、学生の卒業や進路に向けて、学修上の目標を設定し達成できるよう、教員が行う様々な教育指導のことである。「アカデミック英語」を履修する学生には、EAEプログラムの教員をEAEアドバイザーとして割り当てる。リベラルアーツプログラムを開始した学生には、リベラルアーツプログラムの教員をテンポラリーアカデミック・アドバイザーとして割り当てる。メジャー申告後は、メジャー分野を担当する教員が、アカデミック・アドバイザーとなる。卒業に向けた履修計画や卒業後の進路について主体的にアドバイザーに相談し、指導や助言を求めること。

③ 履修単位数の目安

各学期に履修しなければいけない単位数は定められていないが、8学期間で124単位を修得するためには、各学期に16から18単位履修することが強く推奨される。

④ 履修上限単位数

履修上限単位数とは、1年間に履修可能な登録単位数で、学年ごとに以下の通り定められている。

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
履修上限単位	36単位	42単位	42単位	42単位

履修登録をした科目については、単位の修得有無に関わらず履修上限単位数に加算する。つまり、「不合格(FまたはNP)」や「履修中止(W)」となった科目の単位数や、交換留学で修得・互換した科目等の単位数も加算する。1学期に、1年生が20単位以上、2～4年生の学生が22単位以上履修登録するには、「Course Overload」を申請し認められる必要がある。申請を行わなかったり、申請が却下されたりすると、履修登録が完了していても一部科目の登録が取り消される。なお、その学期に申請が認められても、学年ごとの履修上限単位数は変わらない。「Course Overload」の申請については、iCLA Naviを参照すること。

⑤ 履修前要件

履修前要件とは、ある科目を履修するにあたり事前に満たす必要のある条件のことで、開講科目一覧やシラバスで確認することができる。通常、前学期までに修得すべき別の科目や試験における一定の基準が履修前要件となっている。ただし、履修前要件を満たしていなくても、履修登録期間中に免除申請を行い、要件と同等の知識やスキルを有すると認められる場合、その科目を履修できる。また、直前の学期に履修した日本語教育科目が「A」評価だった正規生を対象に実施するスキップ（飛び級）テストで一定の点数を取ると、履修前要件を満たしていなくても上のレベルの日本語教育科目を履修できる。履修前要件免除の手続きについては、iCLA Naviを参照すること。

(3) 科目の登録

① 履修登録

履修登録とは学生が履修する授業科目を登録する手続きのことで、所定の期間にのみ行うことができる。卒業要件単位を修得するためには、自身で半期ごとに時間割を作成し、UNIPA で履修登録を行う。履修登録が正しく行われていないと、授業に出席しても単位を修得することはできないため、登録科目に誤りのないよう自身の責任において確認すること。

② 登録期間

- ・ 登録期間は学事暦や iCLA Navi にて確認できる
- ・ 正当な理由なく所定の期日までに履修登録を行わないと、除籍の対象となる
- ・ 所定の期間外に科目の登録、変更、削除、履修中止はできない
- ・ 履修中止受付期間に履修を中止した場合、成績証明書の成績に「W」と記載する

③ 履修登録における制約

- ・ 同じ時限に重複して履修登録をすることはできない
- ・ 各科目に履修上限人数が設定されている場合、原則として先着順で履修登録される
- ・ セクション分けがある科目で、学生にセクションが割り当てられている場合、原則学生はそのセクションを履修しなければならない
- ・ 一部の科目は学生本人が履修登録をすることができないため、iCLA 事務室が手続きを行う

④ 再履修

単位を修得した科目は再度履修できないが、成績が「F」、「NP」、「W」のいずれかであった科目は再度履修できる。なお、次学期以降に同じ科目が開講されるとは限らない。

⑤ EAE 学生のリベラルアーツ科目の履修

「アカデミック英語」を履修中でも、「カレッジ・サクセスの基礎」以外の『実習科目』を履修できる。

4. 授業

(1) 出欠

① 出席

授業は単位修得のための学修時間に基づき設計されているため、出席が必須である。出欠は履修登録日にかかわらず授業初日から記録され、ある科目の欠席時数が総授業時間数の 3 分の 1 を超えると、その科目の試験受験資格を失い、「F」または「NP」の評価を受ける。

② 遅刻

遅刻の取り扱いは担当教員の判断による。公共交通機関のダイヤの乱れ等による遅刻の場合、遅延証明書を教員に提出することができる。必要に応じて公共交通機関に問い合わせること。

③ 公欠

以下の事由でやむを得ず授業を欠席した場合、大学公認の欠席（公欠）を申請することができる。

- ・ 忌引き（三親等以内）の場合
- ・ 医師の証明する傷病の場合
- ・ 「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づき、裁判員としての任務を果たす場合
- ・ 「学校保健安全法施行規則」第 19 条に基づく感染症による出校停止の場合（以下「出席停止」参照）
- ・ 正課の授業の実習に参加する場合
- ・ スポーツ強化指定選手として、大学が認定した試合や合宿等の活動をする場合
- ・ 学生センターにて管理する公認団体として、大学が認定した学外活動に参加する場合
- ・ 合理的な配慮として公欠が相当であると学生センター健康相談課が判断する場合
- ・ その他、学長が必要と認めた場合

申請が認められた場合、科目担当教員が授業での配布資料や自習内容の指示等を提供する。学生がそれに基づき欠席した授業と同程度の学修の補充を行うと、欠席とみなされない。なお、公欠の適用は、全授業回数の半分未満を上限とする。手続きや必要書類の詳細は iCLA Navi を確認すること。

④ 出席停止

以下の感染症に罹患した場合、「学校保健安全法施行規則第 19 条」により出席を停止とする。感染症に罹ったまたは罹った疑いのあるときは、速やかに必要な手続きを行い、出席停止期間中は他の人との接触を避け感染防止に努めること。出席停止に係る手続きについては、iCLA Navi を参照すること。

病名	出席停止の期間
第 1 種 エボラ出血熱・クリミア/コンゴ出血・痘そう・南米出血熱・ペスト・マールブルグ病・ラッサ病・急性灰白髄炎・ジフテリア・ラッサ熱・重症急性呼吸器障害（SARS）・中東呼吸器小症候群（MERS）・特定鳥インフルエンザ	治癒するまで

病名		出席停止の期間
第2種	新型コロナウイルス感染症（ベータコロナウィルス属のコロナウィルスに限る）	発症後5日経過し、かつ症状が軽快した後1日経過するまで
	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）	発症後5日経過し、かつ解熱後2日経過するまで
	百日咳	特有の咳の消失または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱後3日経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹発現後5日経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	風疹（三日はしか）	発疹が消失するまで
	水痘（水ぼうそう）	全ての発疹がかさぶたになるまで
	咽頭結膜炎（プール熱）	主要症状の消退後2日経過するまで
第3種	結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染のおそれがないと認められるまで
	コレラ・細菌性赤痢・腸管出血性大腸菌感染症・腸チフス・パラチフス・流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎・その他感染症（ノロウィルス・感染性胃腸炎・マイコプラズマ肺炎・溶連菌感染症等）	感染のおそれなくなるまで

(2) 休講・補講・教室変更

① 休講

特別に学校行事がある場合、または1回の授業時間の3分の1以上にわたり担当教員がやむを得ない事情で授業を実施できない場合は、授業が休講となることがある。通常、休講通知は教員がUNIPAで行うが、休講通知や特別な指示もなく、担当教員が授業開始時間より25分以上経っても教室に現れないときは、iCLA 事務室に連絡すること。

② 補講

休講となった授業は、原則として補講を行う。学事暦で定められた補講日か、授業期間内の別の日に実施する。

③ 教室変更

使用教室を変更する場合や、一時的に異なる教室を利用する場合は、UNIPA で通知する。

(3) 不測の事態

① 授業中の怪我や体調不良

授業中に怪我をしたり体調不良になって病院を受診したりしたときは、保健管理室に届け出ること。本学の学生は「学生教育研究災害傷害保険」に加入しているため、怪我については補償される場合がある。

② 悪天候

悪天候（台風・大雪等）の場合の授業及び定期試験の取り扱いは以下の通りである。

- ・ 当日の6:00頃（状況により適宜）、本学ウェブサイト（<https://www.ygu.ac.jp>）で情報を発信する
- ・ 当日の5:30に、山梨県下に以下に掲げる気象庁の「特別警報」が発令されている場合は、学生及び教職員の安全確保のため、当日（終日）を全学休校とし、授業及び定期試験を中止とする
特別警報：大雨特別警報／大雪特別警報／暴風特別警報／暴風雪特別警報
- ・ 指定の時間や条件に限らず、交通機関の制限が発生している場合等から総合的に判断し、学生及び教職員の安全確保のため、当日（終日）を全学休校とし、全授業及び定期試験を中止することがある
- ・ 台風や降雪等は地域によって状況が異なるため、通学は安全第一とし、決して無理をしないこと
- ・ 学外実習等に参加している場合は、担当教員の指示に従うこと
- ・ 休講となった授業及び中止となった定期試験は後日実施とし、詳細はUNIPA やメールで通知する

③ 南海トラフ地震

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁が南海トラフ地震臨時情報を発表する。情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報（●●）」等の形で情報が発表される。キーワードの内容に応じて、大学の授業、試験、行事、課外活動（以下、「活動」という。）の実施を判断する。

- ・ 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表された場合、大学が方針を発表するまでの間、学生はすべての活動を停止した上で、大規模地震への備えを確認し、避難のための準備をする
- ・ その他の場合は、大学が方針を発表しない限り、大規模地震の発生に注意しながら通常の活動を行う

(4) 授業での行動規範

授業は学びの場である。他の学生や教員と共に過ごす時間を尊重し、良好な学習環境を保つこと。以下の行為が事実かつ特に悪質だと認定された場合は、学則により処分の対象となる。詳細は iCLA Navi を参照すること。

- ・ 担当教員や他の学生の指摘にも関わらず授業を妨害する行為
- ・ 出席に関する虚偽の申告または、出席の記録を改ざんする行為
- ・ 課題、レポート、試験にて担当教員が禁止している行為
- ・ 担当教員が不正であると認める行為

5. 試験

(1) 概要

科目の単位を修得するには、試験を受験し、その他の成績評価基準に照らして総合的に合格の評価を受けなければならない。試験には、定期試験、授業時間内に随時行われる試験、科目と関連した外部テスト等がある。

(2) 定期試験

定期試験は、授業実施最終週の翌週の定期試験期間に行われる。試験の方法は筆記試験、レポート、口述、実技等、科目によって異なる。定期試験の時間割は実施の約1ヶ月前に iCLA Navi に掲載する。以下の場合には受験資格を失い、単位は認定されない。

- ・ 履修登録をしていない者
- ・ 学生証の提示がない者（学生証再発行手続完了者のみ、仮学生証を発行する）
- ・ 学費等納入金やその他の義務金を納めていない者
- ・ 授業の欠席時間数が総授業時間数の3分の1を超える者（ただし、担当教員の判断により、欠席時間数についてシラバスに明示の上、より厳しい要件を課すことがある）

(3) 追試験

追試験とは、以下の理由でやむを得ず定期試験を受験できなかった場合に、あとから特別に行う試験のことである。

- ・ 親族（3親等以内）の死亡もしくは葬儀
- ・ 疾病等
- ・ 交通事故
- ・ 電車等の遅延
- ・ 就職試験
- ・ 大学等の代表として出場する競技会もしくは全国レベル以上の大会への出場
- ・ その他

追試験の評価は、通常の定期試験と同じ方法で行われる。追試験を欠席した者に対し再度の追試験は実施しない。なお、追試験制度は定期試験期間外に行われる中間試験やその他の試験には適用されないため、それらを欠席した場合は担当教員に相談すること。追試験の対象となる場合は、所定の手続を行う必要がある。手続きや必要書類の詳細は iCLA Navi を確認すること。

(4) 再試験

再試験とは、期末試験後に科目の単位を修得できなかった4年生に対して、大学の裁量で特別に実施する試験等のことである。大学が再試験の対象となる学生に実施の旨を通知する。定期試験等の放棄や欠席により「F」または「NP」評価となった場合は、再試験の対象にならない。再試験を受験して科目に合格した場合、成績評価は「D」または「P」とする。成績は成績発表日に UNIPA で通知する。

(5) 受験上の注意

受験時は、担当教員より予め示された規則や監督者の指示に従わなければならない。筆記試験に限らずオンライン試験、レポート試験等で不正行為の事実が認定された場合は、その事実を学部長に通知し、学則により処分の対象となる。不正行為の事例は以下を含むが、これらに限定されるものではない。

- ・ 受験資格者以外の人物によるなりすまし
- ・ 答案を複数人にて協力して作成する行為
- ・ 他の受験者の回答を剽窃する行為
- ・ カンニングペーパー等の使用や、カンニングや私語等の悪質な行為
- ・ 持ち込みが許可されている参照物への解答等の書き込み及び参照物の貸し借り
- ・ 持ち込みが許可されていない参照物や所持品の使用
- ・ 試験の実施や他の受験者に著しく影響を及ぼす行為
- ・ 答案作成に際して科目担当教員または監督者の指示に従わない行為
- ・ AI で生成された文章等をそのまま流用する行為

6. 成績

(1) 成績評価

成績の評価は、5段階で行われる。成績表示及びグレード・ポイント（GP）は以下の通りとする。

GPA	評価	成績評価基準	可否	単位	GP	評価内容
対象	A	100-90 点	合格	修得	4.0	秀でている
	B	89-80 点			3.0	優れている
	C	79-70 点			2.0	妥当と認められる
	D	69-60 点			1.0	合格と認められる
	F	59-0 点	不合格	未修得	0.0	合格と認められる最低限の成績に達していない
対象外	P	100-60 点	合格	修得	—	合格と認められる
	NP	59-0 点	不合格	未修得	—	合格と認められる最低限の成績に達していない
	R	単位認定科目	—	修得	—	他大学等で修得した単位を本学の単位として認定
	W	履修中止	—	未修得	—	所定の手続きを経て履修を中止

(2) GPA (Grade Point Average)

① 計算方法

GPA は単位当たりの成績の平均値で、以下の計算式により算出する（少数点第3位は四捨五入）。

GPA の算出法
$\frac{\text{当該期間における} [(4.0 \times A \text{ の修得単位数}) + (3.0 \times B \text{ の修得単位数}) + (2.0 \times C \text{ の修得単位数}) + (1.0 \times D \text{ の修得単位数})]}{\text{当該期間における総履修登録単位数 (F の単位数を含む)}}$

不合格の評価を受けた科目を再履修した場合、再履修前に受けた不合格の評価は GPA に算入せず、再履修して受けた評価のみを算入する。例えば、「F」評価を受けた科目を再履修し「A」評価を受けた場合、「A」評価のみを GPA 計算に含める。評価が、「P」や「NP」（「アカデミック英語 A」、「アカデミック英語 B」、「卒業研究」、「インターンシップ」）、「R」（単位互換科目）、「W」（履修中止科目）となる科目は含めない。

② GPA の活用方法

大学は学生の GPA を以下のような場面で活用する。

- ・ GPA の分布状況を分析または公開し、学部間、メジャー間、教員間等の成績評価の平準化に努める
- ・ 「アカデミック英語」の達成度を測る基準とする
- ・ 学生表彰、奨学金や授業料減免等の選考基準とする
- ・ 修学面談等で適切な学生指導を行うための参考とする
- ・ 退学勧告の判断材料とする

(3) 成績発表

成績は、前期は7月に、後期は1月に、冬季特別授業の成績は3月下旬に UNIPA で発表する。「アカデミック英語」の進級及び修了の可否は、授業最終日から約1週間後に発表する。保証人も UNIPA で学生の成績を照会できる。

(4) 成績問い合わせ

授業科目の成績評価について、科目担当教員の成績評価の誤記入等が疑われる場合や、シラバスに記載された到達目標、成績評価基準及び成績の評価方法に照らして、評価に疑義がある場合、担当教員に対し直接確認するか、成績評価に関する問合せ書を用いて iCLA 事務室を通じて教員に問い合わせることができる。問い合わせ期日は成績評価が公開された日の翌日から3日以内とする。iCLA 事務室を通じて問い合わせた場合、教員は、学生が不備なく記入済みの問い合わせ書を、iCLA 事務室が受領した日の翌日から5日以内に回答する。

(5) 卒業判定

学生が卒業要件を満たし学位を修得できるかを学部教授会にて判定することを卒業判定という。卒業判定の結果は、前期は8月に、後期は2月に、学生に通知する。

2026年度 iCLA 学事暦 / iCLA Academic Calendar YEAR 2026

- 授業実施日
Class Day
- 定期試験期間
Finals Week
- オリエンテーション
Orientation
- EAE/日本語 冬季特別授業期間
EAE/JPNL Winter Program Period
- 補講日
Make-up Class Day
- 追・再試験
Make-up/Retake Exams
- カフェテリア閉鎖日（食事提供無し）
Cafeteria Closed (no meals served)

4月 APRIL							DATE	SCHEDULE
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	3/24-3/25	4月生入寮日①② Dormitory Move-in Day 1-2
22	23	24	25	26	27	28	3/26-4/3	オリエンテーション期間（クラス分けテスト含む） Orientation Period (including placement tests)
		入寮日①	入寮日②				1-12	履修登録期間（授業追加/削除期間） Course Registration Period (Add/Drop)
29	30	31	1	2	3	4	3	入学式 Spring Semester Entrance Ceremony
					入学式		6	春学期授業開始 Spring Semester Classes Begin
5	6	7	8	9	10	11	13-17	履修登録期間（授業削除期間） Course Registration Period (Drop Only)
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		20-24	履修中止受付期間（申請のみ） Course Withdrawal Period (by application only)
12	13	14	15	16	17	18	25	補講日 Make-up Class Day
	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		29	昭和の日（授業実施） National Holiday (Class Day)
19	20	21	22	23	24	25		
	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)			
26	27	28	29	30				
	(4)	(4)	(4)	(4)			◆	4月食事提供（4月1日～30日の週末以外：22日）April Board (Apr. 1 - 30 excl. weekends: 22 Days)
5月 MAY								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	3	憲法記念日 National Holiday
					1	2	4	みどりの日（休講） National Holiday (No Class Day)
					(4)		5	こどもの日（休講） National Holiday (No Class Day)
3	4	5	6	7	8	9	6	振替休日（休講） Substitute Holiday (No Class Day)
	休講	休講	休講	(5)	(5)		23	補講日 Make-up Class Day
10	11	12	13	14	15	16		
	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)			
17	18	19	20	21	22	23		
	(6)	(6)	(6)	(7)	(7)			
24	25	26	27	28	29	30		
	(7)	(7)	(7)	(8)	(8)			
31							◆	5月食事提供（5月1日～31日の週末、休講日以外：18日）May Board (May 1 - 31 excl. weekends&no class days: 18 Days)
6月 JUNE								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	3	創立記念日（授業実施） University Foundation Day (Class Day)
	1	2	3	4	5	6	27	補講日 Make-up Class Day
	(8)	(8)	(8)	(9)	(9)			
7	8	9	10	11	12	13		
	(9)	(9)	(9)	(10)	(10)			
14	15	16	17	18	19	20		
	(10)	(10)	(10)	(11)	(11)			
21	22	23	24	25	26	27		
	(11)	(11)	(11)	(12)	(12)		◆	6月食事提供（6月1日～30日の週末以外：22日）June Board (Jun. 1 - 30 excl. weekends: 22 Days)
28	29	30						
	(12)	(12)						
7月 JULY								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	11	補講日 Make-up Class Day
		1	2	3	4		20	海の日（授業実施） National Holiday (Class Day)
		(2)	(3)	(3)			22	春学期授業終了 Spring Semester Classes End
5	6	7	8	9	10	11	23-24	春学期定期（期末）試験期間 Spring Semester Finals
	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)		24-25	退寮日①② Dormitory Move-out Day 1-2
12	13	14	15	16	17	18	29	春学期追・再試験 Spring Semester Make-up/Retake Exams
	(4)	(4)	(4)	(5)	(5)		31	春学期成績発表 Spring Semester Grade Release Date
19	20	21	22	23	24	25	7/31-8/19	夏季休業期間 Summer Break
	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)			
26	27	28	29	30	31		◆	7月食事提供（7月1日～24日の週末以外：18日）July Board (Jul. 1 - 24 excl. weekends: 18 Days)

2026年度 iCLA 学事暦 / iCLA Academic Calendar YEAR 2026

- 授業実施日
Class Day
- 定期試験期間
Finals Week
- オリエンテーション
Orientation
- EAE/日本語 冬季特別授業期間
EAE/JPNL Winter Program Period
- 補講日
Make-up Class Day
- 追・再試験
Make-up/Retake Exams
- カフェテリア閉鎖日（食事提供無し）
Cafeteria Closed (no meals served)

8月 AUGUST							DATE	SCHEDULE
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	1-3	春学期成績問い合わせ期間 Grade Appeal Period
						1	11	山の日 National Holiday
							21	卒業判定 Assessment of Graduation
2	3	4	5	6	7	8	24-25	9月生入寮日①② Dormitory Move-in Day 1-2
							8/26-9/4	オリエンテーション期間（クラス分けテスト含む） Orientation Period (including placement tests)
9	10	11	12	13	14	15	8/31	春学期卒業式（学位授与式） Spring Graduation Ceremony
					卒業判定			
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
	入寮日①	入寮日②					◆	8月食事提供（0日）August Board (0 Days)
30	31							
	卒業式							
9月 SEPTEMBER								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	1	秋学期入学式 Fall Semester Entrance Ceremony
		1	2	3	4	5	1-13	履修登録期間（授業追加/削除期間） Course Registration Period (Add/Drop)
		入学式					7	秋学期授業開始 Fall Semester Classes Begin
6	7	8	9	10	11	12	14-18	履修登録期間（授業削除期間） Course Registration Period (Drop Only)
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		21	敬老の日（授業実施） National Holiday (Class Day)
13	14	15	16	17	18	19	21-25	履修中止受付期間（申請のみ） Course Withdrawal Period (by application only)
	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		22	国民の休日（授業実施） National Holiday (Class Day)
20	21	22	23	24	25	26	23	秋分の日（授業実施） National Holiday (Class Day)
	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)		26	補講日 Make-up Class Day
27	28	29	30				◆	9月食事提供（9月1日～30日の週末以外：22日）September Board (Sep. 1 - 30 excl. weekends: 22 Days)
	(4)	(4)	(4)					
10月 OCTOBER								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	12	スポーツの日（授業実施） National Holiday (Class Day)
				(4)	(4)	3	17	補講日 Make-up Class Day
							24-25	樹徳祭（学園祭） Jutoku Festival (YGU school festival)
4	5	6	7	8	9	10		
	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)			
11	12	13	14	15	16	17		
	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)			
18	19	20	21	22	23	24		
	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	樹徳祭		
25	26	27	28	29	30	31	◆	10月食事提供（10月1日～31日の週末以外：22日）October Board (Oct. 1 - 31 excl. weekends: 22 Days)
樹徳祭	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)			
11月 NOVEMBER								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	3	文化の日（授業実施） National Holiday (Class Day)
1	2	3	4	5	6	7	14	補講日 Make-up Class Day
	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)		23	勤労感謝の日（授業実施） National Holiday (Class Day)
8	9	10	11	12	13	14		
	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)			
15	16	17	18	19	20	21		
	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)			
22	23	24	25	26	27	28		
	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)		◆	11月食事提供（11月1日～30日の週末以外：21日）November Board (Nov. 1 - 30 excl. weekends: 21 Days)
29	30							
	(13)							

2026年度 iCLA 学事暦 / iCLA Academic Calendar YEAR 2026

 授業実施日 Class Day	 補講日 Make-up Class Day
 定期試験期間 Finals Week	 追・再試験 Make-up/Retake Exams
 オリエンテーション Orientation	 カフェテリア閉鎖日（食事提供無し） Cafeteria Closed (no meals served)
 EAE/日本語 冬季特別授業期間 EAE/JPNL Winter Program Period	

12月 DECEMBER							DATE	SCHEDULE
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	5	補講日 Make-up Class Day
		1 03	2 03	3 03	4 03	5 03	18	秋学期授業終了 Fall Semester Classes End
6	7 04	8 04	9 04	10 04	11 04	12	21-22	秋学期定期（期末）試験期間 Fall Semester Finals
							22-23	退寮日①② Dormitory Move-out Day 1-2
13	14 05	15 05	16 05	17 05	18 05	19	12/25-1/12	冬季休業期間 Winter Break
20	21 05	22 05	23	24	25	26		
27	28	29	30	31				
							◆	12月食事提供（12月1日～22日の週末以外：16日） December Board (Dec. 1-22 excl. weekends: 16 Days)
1月 JANUARY								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	1	元日 New Year's Day (National Holiday)
					1	2	11	成人の日 National Holiday
3	4	5	6	7	8	9	13	秋学期追・再試験 Fall Semester Make-up/Retake Exams
							15	秋学期成績発表表 Fall Semester Grade Release Date
10	11	12	13	14	15	16	16-18	秋学期成績問い合わせ期間 Grade Appeal Period
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31							◆	1月食事提供（0日） January Board (0 Days)
2月 FEBRUARY								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	1	日本語冬季特別授業開始 Winter Program (JPNL) Begins
		2	3	4	5	6	1	EAE冬季特別授業開始 Winter Program (EAE) Begins
			卒業判定				3	卒業判定 Assessment of Graduation
7	8	9	10	11	12	13	11	建国記念の日 National Holiday
							23	天皇誕生日 National Holiday
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28							◆	2月食事提供（0日） February Board (0 Days)
3月 MARCH								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	4-5	退寮日①② Dormitory Move-out Day 1-2
	1	2	3	4	5	6	5	日本語冬季特別授業終了 Winter Program (JPNL) Ends
							5	EAE冬季特別授業終了 Winter Program (EAE) Ends
7	8	9	10	11	12	13	15	秋学期卒業式（学位授与式） Fall Graduation Ceremony
							16-24	春季休業期間 Spring Break
14	15 卒業式	16	17	18	19	20	21	春分の日 National Holiday
							22	振替休日 Substitute Holiday
21	22	23	24	25	26	27	23-24	4月生入寮日①② Dormitory Move-in Day 1-2
28	29	30	31				25-31	オリエンテーション期間 Orientation Period
							◆	3月食事提供（0日） March Board (0 Days)

III. 進路・就職

1. 支援概要

(1) 概要

本学では、個別面談、セミナー、イベント、公務員試験・資格試験対策、インターンシップに関する情報提供等、多岐に渡る進路・就職支援を展開している。

(2) 個別面談

就職活動について助言を希望する学生を対象に、個別面談を実施している。1～3年生は、就職活動のスケジュール、自己理解、利用可能なリソース、資格取得、インターンシップについて、4年生は就職活動の進捗状況について相談できる。予約方法については、iCLA Navi、UNIPA、メールで確認できる。

(3) セミナー、イベント、試験対策

本学は、就職活動に役立つセミナーや、企業・卒業生を招いたイベントの開催、公務員試験・資格試験対策支援などを実施している。また、本学部は、日本の就職市場や就職活動の進め方について体系的に学ぶことができる「Working in Japan」セミナーや、人材サービス企業の専門家による模擬面接ワークショップを実施している。詳細は、iCLA Navi、UNIPA、メールで確認できる。

(4) インターンシップ

インターンシップとは、学生が就業前に企業や団体等で就業体験をすることである。企業・団体が本学の学生に設けた枠に学生が大学を通して応募する「大学枠インターンシップ」と、学生自らが企業のウェブサイトや就職情報サイトから応募する「公募型インターンシップ」がある。原則、定期試験終了後から翌学期のオリエンテーション開始までの期間（8月、1～3月）に従事できる。2～4年生は、総労働時間が80時間以上のインターンシップに従事し、所定の手続きを行うと、本学で単位を修得できる。ただし、インターンシップによって修得できる単位数は、在学中1単位までとする。日本国外でインターンシップに従事する場合は、自己負担で海外旅行保険や医療保険等に加入する。その他の詳細は iCLA Navi の国際リベラルアーツ学部インターンシップガイドを参照すること。

(4) 留学生・帰国生向け日本語学習支援

本学部では、学生が日本の就職活動に必要な日本語力を身につけられるよう、日本語科目だけでなく、日本語集中講座、個別指導、日本語能力試験の教材の貸し出し等、様々な学修支援を展開している。

IV. 学生生活

1. 情報サービス・学習リソース

(1) 総合図書館

① 概要

総合図書館は、日本の書籍や学術誌、雑誌、新聞だけでなく、電子版を含む7万冊以上の外国語の書籍を所蔵している。学生は学生証を図書館員に提示して本を借りられる。ラーニングcommonsというグループ学習室や、プリンター、コピー機、デスクトップコンピューターも館内で利用できる。また、ウェブサイト (<https://www.ygu.ac.jp/lib/>) にて、以下の電子リソースを提供している。

- ・ 電子図書
- ・ オンラインデータベース
- ・ マイライブラリ
- ・ 学認 (GAKUNIN)

② マイライブラリ

図書貸出期間の延長、蔵書検索結果の保存、一部データベースの大学敷地外での利用等ができる。

- ・ ログインユーザー名：学籍番号
- ・ パスワード：lib+生月日 (MMDD)

③ 学認 (GAKUNIN)

学認とは、学術電子リソースを発行する学会や研究機関、出版社やそれを利用する大学等で構成された連合体のことであり、参加している各機関に所属するユーザーは、多様なサービスを大学敷地外からでも利用できる。統合認証 ID でログインする。

(2) 言語学習センター

① 概要

言語学習センター (Language Acquisition Center「LAC」) は、日本語や英語を学ぶための施設で、ランゲージメディアセンターとリーディングセンターが設置されており、言語学習アドバイザーが言語の学習やテストに関する支援を行っている。LAC は全学生・教職員が利用できるが、施設及び教材については EAE 学生の利用を優先する。LAC の図書には、書籍、語学能力試験の教材 (TOEFL、TOEIC、IELTS、英検、JLPT)、視聴覚資料、コンピューター、ボードゲーム等があり、iCLA の学生はその一部を貸出利用することができる。貸出手続きについては、iCLA Navi の LAC ハンドブックを参照すること。

② 語学試験

LAC では、定期的に TOEFL ITP を実施している。EAE 学生は無料で、その他の正規生は入学した学期を基準として2学期ごとに1回まで無料で受験できる。

(3) インターネットアクセス

学生は統合認証 ID で無線ネットワーク「YGU_Wi-Fi」に接続できる。

(4) 情報サービスの利用規約

本学の情報サービスを使用する際は、以下の利用規約に従うこと。本学は、ネットワークとコンピューターの使用履歴を監視し、利用規約違反について調査する。重大な違反が発覚した場合、利用権利を失うだけでなく、刑事告発や損害賠償の対象となることがある。

- ・ 著作権で保護されたファイルやコンテンツを違法にダウンロードまたはアップロードしない
- ・ 著作権保護されたコンテンツやソフトウェアを違法に複製しない
- ・ 適切なライセンスを取得せずにプロプライエタリソフトウェアをインストールしない
- ・ 他人のコンピューター、電子メール、その他のアカウントをハッキングしない
- ・ データを盗用・破壊したり、不正なデータを使用したりしない
- ・ パスワードや個人データを他人に開示しない
- ・ 他人の個人情報を第三者に違法に提供または配布しない
- ・ 他人のなりすましをしない
- ・ 各 SNS の利用規約を遵守し、ヘイトスピーチ、中傷、その他の攻撃的または反社会的な SNS 活動を行わない
- ・ 学生寮に他のインターネットサービスを設置しない

※本学のネットワークは教育目的で設置しているため、HTTP と HTTPS プロトコルのみ許可されており、POP/SMTP メール、オンラインゲームソフトウェア (Steam 等)、FTP 等にはアクセスできない

2. 施設

(1) 施設利用共通規則

- ・ 全ての学生が安心して気持ちよく利用できるような心がける
- ・ 施設は清潔に利用し、備品・器具等は大切に扱う
- ・ 学修及び異文化交流、愛好会・公認クラブ活動のみを目的として使用する
- ・ 近隣の迷惑になるような音量で話す、騒ぐ、音楽をかける等の行為はしない
- ・ 飲食、喫煙、火の使用、ペット等動物の持ち込みはしない
- ・ 私物を放置しない（放置された私物は拾得物として大学総合窓口届けられるか、破棄処分となる）
- ・ 施設内にある備品・用品を持ち出さない
- ・ 退出時はごみを片付け、機器や照明の電源を切り、椅子やテーブル、備品等を元に戻し、窓やドアを開める
- ・ 故意または過失により備品・用品を汚損、損傷または滅失させた場合は、直ちにその状況を届け出て原状回復に必要な費用を弁償する
- ・ 各施設の利用規約（Usage Agreement）を遵守する（規約に違反した場合は、損害賠償を求められたり、施設の時間外利用の資格を喪失したり、施設の利用を禁止されたりする場合がある）

(2) 教室以外の施設利用

① 利用時間

施設	授業期間中	授業期間外
言語学習センター	平日 9:00-17:00	平日 9:00-17:00
学生ラウンジ	月-日 9:00-22:00	月-日 9:00-22:00
自習室 1・2	終日	終日
屋上庭園	平日 9:00-18:10	利用不可
南テラス	平日 9:00-18:10	利用不可
北テラス	非常時のみ	非常時のみ

※修理、清掃、不測の事態等により施設を利用できない場合がある

② 屋上庭園の利用規則

- ・ 芝生にダメージを与えない
- ・ 庭園の中の植物、備品、自動スプリンクラー等には触らない
- ・ 非常時以外は屋上から2階バルコニーへの非常口階段を使用しない

(3) 部外者の来館

本学の学生・教職員以外の者のiCLA棟内への立ち入りは、事務取扱時間内のみとする。入館時は事務室にて来館手続きを行い、館内では来訪者証を着用する必要がある。原則、部外者は学生寮へ立ち入ることはできない。

3. 学生生活支援

(1) 学生生活における悩みについて

本学では、学生が心身の健康を維持し充実した大学生生活を送れるよう、相談の場を設けている。

① 保健管理室

保健管理室には専門スタッフが常駐し、怪我の応急処置や体調不良時の休養、健康相談等の対応を行っている。また、病気の予防や早期発見のため、毎年4月に健康診断を行っている。

② 学生相談室

学生相談室では、小さなことから大きなことまで、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師、日本語対応のみ）に気軽に相談できる。

③ スマート相談室

スマート相談室とは、主に在留外国人を対象とした多言語オンラインカウンセリングサービスで、学生は、英語、日本語、中国語等で無料相談ができる。利用手続きについてはiCLA Naviを参照すること。

④ 特別修学支援室

特別修学支援室では、障がいのある学生や明確な障がいの有無に限らず修学支援を必要とする学生が本来の能力を発揮できるよう、支援や合理的配慮の調整を行っている。特別修学支援を希望する学生は、icla.accessibility@c2c.ac.jpに連絡すること。

⑤ ハラスメント窓口

全ての学生・教職員が、個人として尊重され、教育、研究、就学・修業その他の諸活動を相互の信頼のもとに行うことができるような環境をつくるため、ハラスメントの相談窓口を設けている。

(2) 相談内容の守秘

相談内容の秘密は厳守され、相談者の同意なしに、相談内容が外部に漏れることはない。ただし、自他を傷つける恐れがある場合や緊急の対応が必要な場合には、関係者に情報を共有することがある。

4. 保険

(1) 学生教育研究災害障害保険

① 概要

本学は、教育研究活動中に被った災害に対して必要な給付を行う学生教育研究災害傷害保険に、全ての学生を加入させている。万一怪我等をした場合には、保健管理室まで届け出ること。

② 補償の対象

種類	正課中、学校行事中	キャンパス内、課外活動中
死亡	1,200 万円	600 万円
後遺障害	障害の程度により 72 万～1,800 万円	障害の程度により 36 万～900 万円
医療	治療日数により 3,000 円～30 万円 (治療日数 1 日以上が対象)	治療日数により 3 万円～30 万円 (治療日数 14 日以上が対象)
入院 (日額)	4,000 円	4,000 円

③ 補償対象外の項目

- ・ 故意、闘争行為、疾病、自然災害、無資格・酒酔運転・自殺行為・薬物使用
- ・ 山岳登山、スカイダイビング等の危険度の高い課外活動
- ・ 既定の治療日数に満たない場合

※治療日数の考え方は怪我の種類によって異なるため、自己判断は避け、必ず保健管理室に相談すること

(2) 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険

① 概要

正規留学生は、学生教育研究災害傷害保険に加えて外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険に自動的に加入する。

② 補償の対象

補償項目	保険金額
個人賠償責任	1 億円
死亡・後遺障害	100 万円
救援者費用	300 万円

5. 学費

(1) 学費等納入金

学費等納入金には、入学金・授業料・教育充実費及び在籍料が含まれる。

項目	金額
入学金 (初年度のみ)	200,000 円
授業料	1 学期 658,000 円
教育充実費	1 学期 190,000 円
在籍料 (休学または卒業延期時のみ)	1 学期 30,000 円

※入学金・授業料・教育充実費は入学時に定められた金額が卒業まで適用され、上記金額は 2026 年度に入学した学生に該当する

(2) 納入方法

学期ごとに原則口座振替で納入する。日本国内の銀行口座を所有していない等の事情により口座振替ができない場合は、請求書に基づき銀行振込で納入する。

(3) 通知

大学は、口座振替の場合は納入金額の通知を保証人宛てに郵送し、銀行振込の場合は請求書を学生の大学メールアドレス宛に送付する。原則として、前期分は 1 月下旬、後期分は 6 月中旬に通知するが、高等教育の修学支援新制度利用者や国際リベラルアーツ学部アカデミック奨学生への通知はこれより遅れる。

(4) 納入期限

口座振替は所定月の通知に記載された日付、銀行振込は所定月の末日とする。所定月は以下の通り。

対象者	前期	後期
全額納付学生	学期開始直前の 2 月	学期開始直前の 7 月
高等教育の修学支援新制度前期新規採用者	採用決定月の翌月	学期開始直後の 12 月
高等教育の修学支援新制度後期新規採用者	学期開始直前の 2 月	採用決定月の翌月*
高等教育の修学支援新制度継続採用者	学期開始直後の 5 月	学期開始直後の 12 月
国際リベラルアーツ学部アカデミック奨学生	学期開始直後の 5 月	学期開始直後の 10 月

※採用月が 2 月以降の場合の期日は 3 月 10 日

(5) 留意点

学費等納入金を所定の期日までに納入しない場合、定期試験の受験資格の停止、成績発表の保留、奨学金の更新停止、除籍等の措置が取られる。

6. 奨学金・教育ローン

(1) 給付型

① C2C 学生奨励制度 - 学業奨励部門

本学は、優れた学業成績を修める学生を奨励する奨学金を支給する。支給額は、A種が30万円、B種が15万円である。募集は年1回で、返済義務はない。詳細はウェブサイト (https://www.ygu.ac.jp/for-students/fees_scholarship/c2cscholarship/) で確認でき、募集要項はメールやUNIPAで通知する。

② C2C 学生奨励制度 - 外国語学習奨励部門

本学は、学生のコミュニケーション能力の向上と外国の文化の理解に資する外国語学習の活動を奨励する奨学金を支給する。支給額は、A種が30万円、B種が15万円である。対象言語は日本語、英語、中国語で、出身国の公用語以外の複数言語に応募できる。募集は年1回で、返済義務はない。詳細はウェブサイト (https://www.ygu.ac.jp/for-students/fees_scholarship/c2cscholarship/) で確認でき、募集要項はメールやUNIPAで通知する。

③ C2C 学生奨励制度 - 企画実現奨励部門

本学は、社会貢献やビジネス分野への貢献につながる企画を奨励する奨学金を支給する。支援額は、企画1件につき最大30万円である。詳細はウェブサイト (https://www.ygu.ac.jp/for-students/fees_scholarship/c2cscholarship/) で確認でき、募集要項はメールやUNIPAで通知する。

④ 高等教育の修学支援新制度

日本政府は、専門学校・短期大学・大学への進学を希望する意欲と能力のある若者が、経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、家庭の所得金額に応じて、入学金・授業料の減額または免除と給付型奨学金の支給を行っている。在留資格「留学」を持つ学生は、本制度に応募できない。詳細は、文部科学省のウェブサイト (https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm) で確認でき、募集要項はウェブサイト、メール、UNIPAで通知する。

(2) 貸与型

① 日本学生支援機構

日本学生支援機構は、経済的理由により学業を継続することが困難な学生に貸与を行っている。返還無利子の「第一種奨学金」と有利子貸与の「第二種奨学金」があり、いずれも月単位で支給される。在留資格「留学」を持つ学生は、本制度に応募できない。詳細は、日本学生支援機構のウェブサイト (<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/>) で確認できる。

② 日本政策金融公庫教育ローン

日本政策金融公庫は、教育資金を必要とする学生に貸与を行っている。本制度に申請するには、保証人が日本に居住している必要がある。詳細は、日本政策金融公庫のウェブサイト (<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>) で確認できる。

③ 学費サポート制度

学校法人C2C Global Education Japanはオリエントコーポレーション（通称・オリコ）と共同で貸与を行っている。オリコが保証人に代わって学費等納入金を納入し、保証人がオリコに対して毎月分割で返済する。本制度に申請するには、保証人が日本に居住している必要がある。詳細は、オリコのウェブサイト (<http://www.orico.tv/gakuhi/index.php?clientid=14584395>) で確認できる。

(3) その他

各都道府県・各市町村・民間団体が実施する各種奨学金制度がある。本学を通して申請するものについては、ウェブサイト、メール、UNIPA等で通知する。

7. 在留資格

(1) 在留資格「留学」

① 概要

留学生は、入国時に「留学」の在留資格と在留カードを取得する。在留資格「留学」は外国人が日本の教育機関へ留学するために付与される資格で、在留カードは出入国在留管理庁から3ヶ月以上の滞在が許可されている中長期居住者に発行される。在留資格で定められた活動（教育を受ける活動）を3ヶ月以上行わないでいる場合は、資格を取り消され、日本からの出国が求められることがある。法律により、在留カードを常に携帯することが義務付けられており、携帯していなかった場合、罰則が科される。

② 在留資格「留学」の維持

学生は、在留資格「留学」を維持するため、以下の事項を履行する必要がある。履行しない場合、出入国在留管理局は、在留期間の更新を許可しないことがある。

- ・ 授業に出席すること
- ・ 卒業に向けて計画的に単位を修得し、十分な学業成績を維持すること
- ・ 大学から休学を許可された場合、学生は日本から出国すること
- ・ 交換留学や休学を経て再度本学に戻るときは、本学を通して在留資格認定証明書交付申請を行い、改めて在留資格を得ること
- ・ 引っ越し等で住所が変わったときは、速やかに市役所にて住所変更手続きを行うこと
- ・ 氏名、性別、国籍・地域等が変わったときは、14日以内に出入国在留管理庁で手続きを行うこと
- ・ 在留カードや在留状況に変更があった際は、所定の書式を用いて大学に報告すること
- ・ 在留カードを紛失したときは、速やかに最寄りの警察署及びiCLA事務室に届け出ること
- ・ 在留カードの有効期限の3ヶ月前から、原則本学を通して在留期間更新許可申請を行うこと

(2) 資格外活動許可

① 概要

資格外活動許可とは、在留資格を持つ外国人が、許可された在留資格に応じた活動以外に、アルバイト等、収入を伴う事業を運営する活動または報酬を受ける活動を行おうとする場合に必要な許可のことである。留学生は大学で修学する目的で日本での在留を認められているため、収入を得るためにアルバイトをすることは「留学」の資格外活動とみなされ、本来は認められない。そのため、留学生がアルバイトや有償のインターンシップに従事するには、事前に出入国在留管理局から資格外活動許可を得る必要がある。申請を希望する場合は、iCLA事務室に連絡すること。

② 勤務時間

留学生は、資格外活動許可の範囲内で合計労働時間週28時間を上限としてアルバイトができる。複数のアルバイトをする場合や、授業がない期間にアルバイトをする場合も同じ制限が適用される。ただし、学則で定める以下の長期休業期間は、1日8時間以内のアルバイトができる。

- ・ 夏季休業：2026年7月31日（金）～2026年8月19日（水）
- ・ 冬季休業：2026年12月25日（金）～2027年1月12日（火）
- ・ 春季休業：2027年3月16日（火）～2027年3月24日（水）

インターンシップを行う年度に卒業見込みで、かつ、卒業に必要な単位を112単位以上修得している学生は、長期休業期間外でも「1週につき28時間を超える資格外活動許可」を申請できる。

③ 勤務先

風俗営業、性風俗特殊営業、異性紹介営業が行われる以下の場所でのアルバイト（血洗いや掃除、ティッシュ配り、店外での呼び込みも含む）は、法律により禁止されている。

風俗営業	客を接待する飲食店、スナック、バー、ナイトクラブ、キャバクラ、ホストクラブ、キャバレー、クラブ、ダンスクラブ、マージャン店（雀荘）、パチンコ店、ゲームセンター等
性風俗 特殊営業	ソープランド、ファッションヘルス、ラブホテル、アダルトショップ、出会い喫茶、デリバリーヘルス、アダルトビデオの通信販売業、アダルト映像のインターネット配信業等
異性紹介営業	テレフォンクラブ（テレクラ）等

④ 学生の義務

勤務中は、資格外活動許可の証印が押された在留カードを携帯すること。また、勤務先・仕事内容・勤務時間が決まった、または変わったときは、現況報告書を用いて大学に報告すること。

⑤ 不法就労の罰則・処分

資格外活動に関する法律に違反した場合、罰金・禁錮・懲役の刑や、退去強制処分（母国に強制的に送り返されること）の対象となる。退去強制処分を受けると、原則として5年間日本へ入国できなくなる。

違反の内容	罰則・処分
許可された時間より長くアルバイトをした	出入国管理及び難民認定法により、懲役または罰金（または併科）が科される。懲役刑に処せられた場合、退去強制手続の対象となる。
法律で禁止されている場所でアルバイトをした	
資格外活動許可を受けずにアルバイトをした	
資格外活動許可の期限が過ぎた後もアルバイトを続けた	
大学に通わずアルバイトばかりしている	出入国管理及び難民認定法により、懲役または罰金（または併科）が科される。また、在留資格取消の対象や退去強制手続の対象となる。

(3) 卒業・離学後

本学を卒業・退学したとき、または除籍されたときは、期限にかかわらず在留カードは無効になる。したがって、以下の通り、速やかに出国するか、適切な在留資格への変更申請を行う必要がある。また、本学を離学した日から14日以内に、最寄りの地方出入国在留管理局に「受入機関届出書」を提出しなければならない。詳細は出入国在留管理庁のウェブサイトを確認すること

(https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00014.html)。

① 就労

日本の企業から内定を得て、卒業後すぐに就職を予定している場合、雇用主と相談の上、「技術・人文知識・国際業務」など就労が認められる適切な在留資格に変更すること。

② 内定者

日本の企業から内定を得ており、採用までの間日本に滞在したい場合は、雇用主と相談の上、「特定活動（内定者）」へ在留資格を変更すること。

③ 就職活動継続

在学中から就職活動を行っているが内定を得られず、卒業後も日本で就職活動を継続する場合は、「特定活動（継続就職活動）」へ在留資格を変更すること。在留期間は6ヶ月で、必要に応じてさらに6ヶ月月延長することができる。申請には大学の推薦状が必要であり、大学は学修状況、懲戒歴、就職活動状況や意欲、経費支弁能力等を総合的に判断し、適当と認めた場合に発行する。

④ 他の教育機関への入学

日本の教育機関から入学許可を得ており、離学後直ちに課程が開始される場合は、進学先に「留学」の在留期間更新申請について相談すること。

⑤ 大学院への進学待機

日本の大学院から入学許可を得ており、課程開始まで日本に滞在する場合は、大学院と相談の上、「特定活動（進学待機者）」へ在留資格を変更すること。

⑥ 出国

離学後に日本を出国する場合、以下の手続きを行う必要がある。なお、これらの手続きを怠ると、今後の在留諸申請や日本での新規契約等に支障が生じる場合がある。

- ・ 賃貸借契約、公共料金（電気・ガス・水道等）、携帯電話、インターネット、銀行口座等について、解約手続きを行い、未払い料金を精算すること
- ・ 出国日の14日前までに市役所にて国外転出の届出及び国民年金・国民健康保険の脱退手続きを行い、未払い料金を精算すること
- ・ 空港で在留カードを出入国管理官に返却し、現在の在留資格で日本に残留しない旨を申し出ること
空港でパンチ穴が開けられた在留カードの写しをiCLA事務室に提出すること

V. 窓口・連絡先

1. 窓口

(1) 窓口一覧

名称	場所	窓口事務取扱時間
iCLA 事務室	iCLA 棟 1 階	平日 9:00-17:00
言語学習センター（LAC）	iCLA 棟 2 階	平日 9:00-17:00
大学総合窓口	クリスタルタワー2 階	
保健管理室	キャンパスセンター2 階	
特別修学支援室	キャンパスセンター3 階	
学生相談室	キャンパスセンター3 階	
総合図書館	33 号館	平日 9:00-20:00、土曜日 9:00-16:30

※iCLA 事務室窓口での相談方法については、iCLA Navi を参照すること

※祝日が授業日の場合、iCLA 事務室の窓口取扱時間は平日と同じとする

※授業期間外については、事務取扱時間を変更する場合がある

2. 連絡先

(1) 住所

① iCLA（学生の不動産契約時等に記載）

〒400-8575 山梨県甲府市酒折 2-4-5 山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部

② iCLA 事務室（事務室宛て郵送物に記載）

〒400-0805 山梨県甲府市酒折 2-7-17 山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部事務室

③ iCLA 学生寮（個人宛の郵送物に記載）

〒400-0805 山梨県甲府市酒折 2-7-17 山梨学院大学

国際リベラルアーツ学部学生寮 部屋番号（例：E000）

(2) 学部事務室メールアドレス

問い合わせ内容	メールアドレス
一般	icla.contact@c2c.ac.jp
教務・学費	icla.academics@c2c.ac.jp
学生生活・寮	icla.studentaffairs@c2c.ac.jp
在留資格・奨学金	icla.international@c2c.ac.jp
交換留学（派遣）	icla.outbound@c2c.ac.jp
進路・就職	icla.career@c2c.ac.jp
言語学習・英語能力試験	lac@c2c.ac.jp
ハラスメント窓口	icla.equalopportunity@c2c.ac.jp
特別修学支援	icla.accessibility@c2c.ac.jp

(3) 緊急連絡先

緊急連絡先	受付時間	電話番号
iCLA 事務室	平日 9:00-17:00	内線 (1350) 外線 (055-224-1350)
けやき総合管理	平日 9:00-17:00	内線 (1722) 外線 (055-224-1722)
けやき総合管理	上記以外の時間	携帯電話 (080-2582-3804)
守衛室	6:00-22:00	内線 (1490) 外線 (055-224-1490)
警察署	24 時間体制	110
消防署・救急車	24 時間体制	119

※休日や事務取扱時間外に不測の事態（緊急を要する病気、事故、寮内建物に関する問題等）に見舞われた場合は、iCLA 寮 1 階の管理入室（日本語対応のみ）に相談すること